



## シラバス

シラバス 2010 年度の講義概要のデータベースを検索します。

■学部・研究科	理工学研究科	■時間割コード	93564
■科目名 サブテーマ	M都市システム工学ゼミナール2	■授業形態/単位	秋/2
■担任者名	<u>鶴田 浩章</u>	■クラス	
■講義概要	<p>＜授業の到達目標及びテーマ＞          広い視野に立って物事を考え、研究能力又は社会で必要となる能力を身につけることを目的として、修士論文作成のための検討に取り組み、それに関連して必要となる技術力を養う。特に、自分の意見を正確に述べ、議論できる力を養う。          ＜授業の概要＞          本ゼミナールでは、建設材料やコンクリート構造物の施工、維持管理、劣化予測などに関する各自のテーマの実験や文献調査から得られたデータをどのように取り扱い、取りまとめていくかを実際に体験しながら、修士論文を完成させる能力を養うことを目指す。</p>		
■講義計画	<p>各自の研究テーマに対して、定期的に状況報告や取りまとめ内容の報告を行い、関連する事項について議論を行いながら、修士論文作成の取り組みを進めていく。</p> <p>第1週～第2週: 進捗状況の報告と今後の方針 ゼミナール1の報告会での審議結果等を踏まえて、これまでの進捗状況を報告し、今後の方針やスケジュールを決定する。</p> <p>第3週～第9週: 実際の実験や解析を通して、現象の理解を進める 4年次生の特別研究の実験に対する指導や各自の研究計画に伴う実験を通して、建設材料に関する現象の理解を進める。</p> <p>第10週: 中間報告会 これまでの成果についての報告、質疑応答を行い、今後の検討についての議論を行う。</p> <p>第11週～第13週: 実際の実験や解析を進めながら、現象の理解を進める 4年次生の特別研究の実験に対する指導や各自の研究計画に伴う実験を通して、建設材料に関する現象の理解を進める。</p> <p>第14週: まとめとしての報告会 秋学期までに取組んだ実験等の結果およびとりまとめ、課題についての報告を行う。</p>		
■成績評価の方法	<p>定期試験を行わず、出席・平常レポート・平常試験など(平常成績)で総合評価する レポートや日頃の報告の内容(40%)、ゼミでの議論への参加状況及び学部生への指導(10%)、報告会の発表、質疑応答(50%)などの平常点から総合評価する。</p>		
■教科書	必要に応じてプリントの配布を行う。		
■参考書	土木学会 2007年版『コンクリート標準示方書』 設計編、施工編、維持管理編、規準編		
■備考	オフィスアワー: 随時実施。予約がのぞましい。E-Mail: tsurutah@kansai-u.ac.jp		

Copyright (C) 2004-2010 関西大学および情報提供者 All rights reserved. 無断転載を禁じます